

**令和5年度進行管理・評価シート**  
**白河市歴史的風致維持向上計画（令和3年3月5日認定）**  
（最終変更 令和6年3月29日）

**□進捗評価シート(様式1)**

①組織体制(様式1-1)		
1 歴史的風致維持向上計画の推進体制	.....	1
②重点区域における良好な景観を形成する施策(様式1-2)		
1 都市計画の活用	.....	2
2 景観計画の活用	.....	3
3 屋外広告物について	.....	4
③歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項(様式1-3)		
1 歴史的まちなみ修景事業	.....	5
2 歴史的風致形成建造物保存修景事業	.....	6
3 市道城山線整備事業	.....	7
4 無電柱化調査事業	.....	8
5 景観学習事業	.....	9
6 リノベーションまちづくり推進事業	.....	10
7 小峰城史跡整備事業	.....	11
8 旧小峰城太鼓櫓等整備事業	.....	12
9 小峰城清水門復元整備事業	.....	13
10 南湖公園史跡整備事業	.....	14
11 無形民俗文化財等記録作成事業	.....	15
12 無形民俗文化財等活動支援事業	.....	16
13 伝統的技術伝承事業	.....	17
14 白河の歴史・文化再発見事業	.....	18
15 ぐるり白河文化遺産めぐり事業	.....	19
16 しらかわ検定事業	.....	20
17 白河かるた作成事業	.....	21
18 勤工場跡地と旧脇本陣蔵座敷の空間整備事業	.....	22
④文化財の保存又は活用に関する事項(様式1-4)		
1 文化財の修理(整備を含む)	.....	23
2 文化財の保存・活用を行うための施設	.....	24
3 文化財の防災	.....	25
4 文化財の保存及び活用の普及・啓発	.....	26
⑤効果・影響等に関する報道(様式1-5)	.....	27
□法定協議会等におけるコメントシート(様式2)	.....	28

評価軸①-1  
組織体制

	評価対象年度	令和5年度
項目	現在の状況	

歴史的風致維持向上計画の推進体制		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
------------------	--	---

計画に記載している内容

- ・まちづくり推進課を中心に、都市計画・文化財部門と連携し、歴史的資源を活かしたまちづくりを推進する。
- ・庁内推進本部を設置し、歴史的風致の維持向上に係る取組みを調整し、円滑かつ効果的な事業推進を図る。
- ・法定協議会や各審議会などの協力により本計画の実現を図る。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

歴まち計画の取り組みについて、客観的な評価や意見を受けるため、「白河市歴史的風致維持向上計画協議会」及び庁内推進本部会議を開催(予定)

- 【各会議の実施状況】
- ・庁内推進本部調整会議・書面会議(令和6年1月29日～2月2日)
  - ・庁内推進本部会議(令和6年2月19日)
  - ・白河市歴史的風致維持向上計画協議会(令和6年3月22日予定)

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
----------------	--------------------------

<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	・複数の課に影響を及ぼす事業について、庁内の連携を図って効果的に事業を推進することが必要である。
--	--

状況を示す写真や資料等

■庁内推進本部推進会議【書面会議】

【期日】令和6年1月29日～2月2日(書面での会議)

【構成員】まちづくり推進課長、文化財課長、都市計画課長、道路河川課長、建築住宅課長、企画政策課長、財政課長、観光課長、農林整備課長

【内容】歴史的風致維持向上計画の進捗状況について報告し、意見を聴取した。

【意見等】

・しらかわ検定受検者数の減少と次の展開について

■庁内推進本部会議

【期日】令和6年2月19日(月)

【構成員】副市長、建設部長、市長公室長、総務部長、産業部長、教育部長

【内容】令和5年度事業の進捗評価について

【意見等】

- ・白河かるたの普及状況について
- ・無形民俗文化財等への支援について
- ・ぐるり白河文化遺産めぐりの推進について
- ・景観学習事業の推進について



評価軸②-1

重点区域における良好な景観を形成する施策

項目	評価対象年度
	令和5年度
都市計画の活用	現在の状況 <input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

計画に記載している内容  
 ○本市の都市計画区域内に位置する重点区域について、都市計画を活用することにより良好な景観の形成を図る。  
 ○南湖北側湖畔には、全国にさきがけて歴史的風致維持向上地区計画を導入し、歴史的風致にふさわしい建築物等の整備による歴史空間を活用している。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

地区計画に併せ「白河市南湖湖畔店舗等に係る歴史的風致維持向上地区計画区域内における建築物等の制限に関する条例」を制定し、建築用途や形態意匠について南湖の歴史的風致にふさわしい建築物の整備を進めている。  
 ○令和5年度整備件数:0件(平成29年度からの累計4件、直近R4年度甘味処鎌倉)

進捗状況 ※計画年次との対応

進捗状況	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	○良好な歴史的風致を維持向上させるため、重点区域における都市計画の活用を継続する。 ○南湖公園エリアについて、南湖湖畔の店舗群を維持することが景観上重要であることから、制度の周知や民間等による空き店舗等の利用促進を図る。

状況を示す写真や資料等

○条例の概要

「白河市南湖湖畔店舗等に係る歴史的風致維持向上地区計画内における建築物等の制限に関する条例」

【地区計画の範囲】



【用途の制限内容】

規制内容	地区計画導入後の規制内容
建築物の用途	○店舗 ・料理店・飲食店(床面積500㎡以内) ・ホテル・旅館(床面積1,500㎡以内) ○店舗兼住宅 ・料理店・飲食店(居住の用に供する部分は延べ面積の2分の1以内)(居住部分を道路に面した位置へ配置しない) ・ホテル・旅館(その用途に供する部分の床面積1,500㎡以内)
容積率	100%
建ぺい率	50%
建築物の高さの最高限度	9.0m以下(軒の高さ:7.0m以下) 2階以下(地下を設けてはならない)

【修景のイメージ】



【形態意匠の制限内容】

- ① 湖畔に面する外壁及び屋根は、歴史的風致に調和したものとする
- ② 屋根は二方向以上の勾配屋根とし、原則として平入りの形状とする
- ③ 道路に面した開口部にシャッターを設ける場合は閉鎖的なものを避ける
- ④ 開口部には引き違いの木製格子戸、又はガラス戸の外側に木製格子を設ける
- ⑤ ソーラーパネル等は設置してはならない
- ⑥ 広告物の素材は自然素材を基本とし、南湖の歴史的風致を損なわないこと

評価軸②-2

重点区域における良好な景観を形成する施策

		評価対象年度	令和5年度
項目		現在の状況	
景観計画の活用		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
計画に記載している内容	景観計画では、小峰城跡・白河駅周辺地区と南湖公園周辺地区について、景観計画重点区域に指定し、建築物等の形態意匠や色彩・高さなどについて景観形成基準を設けており、将来的には都市計画法に基づく景観地区の指定を検討する。また、城下町地区については、景観計画推進区域に指定し、建築物等の高さ等の景観形成基準を設け、景観協定の導入等、住民との協働によるルールづくりを積極的に進めることを目指す地区としている。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
景観条例及び景観計画に基づき、建築物や工作物等の新築、増改築等の行為に関して適正な規制及び誘導を行い、景観計画区域内の良好な景観形成に努めた。 また、春・秋ぐるり白河文化遺産ツアーと連携を図り、これまでの景観まちづくりの取組状況を説明するなど、景観に対する住民の意識の醸成に努めた。 ○令和5年度届出件数:26件(重点区域6件、推進区域4件、景観計画区域16件)			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない		良好な景観の形成には、そこで暮らす住民の理解と積極的な関わりが必要であることから、景観形成に対する住民の意識の醸成を図るための取組みについて引き続き検討を行う。	
状況を示す写真や資料等			
			
●景観取り組みの説明 (春のぐるり白河文化遺産ツアー)		●景観取り組みの説明 (秋のぐるり白河文化遺産ツアー)	

評価軸②-3

重点区域における良好な景観を形成する施策

	評価対象年度	令和5年度
項目	現在の状況	
屋外広告物について	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

計画に記載している内容

屋外広告物については、屋外広告物法及び福島県屋外広告物条例に基づき無秩序な表示や設置を防ぐ美観・風致の維持、良好な景観形成への寄与等のため規制を行ってきたが、より白河市の実情に即した屋外広告物の規制・誘導を図るため、平成25年4月より、独自の屋外広告物条例の制定に向けた取り組みを進め、平成28年4月1日から「白河市屋外広告物等に関する条例」を施行した。

条例では、景観計画との整合性を図るため、計画に位置づけられている景観計画重点区域等(重点区域、推進区域(城下町地区)、南湖から那須連峰への眺望に影響のある新白河駅周辺地区)において、屋外広告物の面積、高さ、色彩等に市独自の許可基準を設け、屋外広告物の規制・誘導を図っている。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

北海道・東北ブロック屋外広告物行政担当者会議に参加し、各自治体の担当者と様々な議題に対する意見交換を行った。また、福島県屋外広告物講習会及び福島県屋外広告美術協同組合白河支部会において、屋外広告事業者に対し市条例の概要説明を行い、取扱基準等の普及啓発に努めた。さらには、屋外広告物適正化旬間(毎年9月1日～9月10日)に併せ、広報紙・ホームページへの掲載や白河支部への協力依頼のほか、屋外広告物パトロール等により、屋外広告物法及び同法に基づく条例の普及啓発、違反屋外広告物に対する市民や企業の意識啓発に努めた。

○令和5年度許可件数:245件(新規37件、更新200件、変更8件)

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している  
計画どおり進捗していない

LEDビジョンによるデジタルサイネージ等、明確な基準がない新しいタイプの広告物が全国的に普及し始めていることから、対応策について検討する。老朽化が進んでいる広告物が増加している中で、今後の安全対策等の進め方について検討する。

状況を示す写真や資料等

令和5年度北海道・東北ブロック屋外広告物行政担当者会議 議題一覧

(1) 許可基準

【議題1】	石油貯蔵タンク等に会社名及びロゴマークの屋外広告物の掲出について	北海道
【議題2】	「管理用広告物」の判断基準について	青森県
【議題3】	「のぼり(広告旗)」の規制について	旭川市
【議題4】	管理用広告物の適用基準等について	函館市
【議題5】	洋上風力発電に掲出される屋外広告物の取扱いについて	青森市
【議題6】	禁止路線等から展望できる地域の取扱いについて	青森市
【議題7】	PPPの指定管理者制度で設置した屋外広告物の取扱いについて	秋田市
【議題8】	禁止物件に対する適用除外について	福島市
【議題9】	複数の広告主の広告物を集合して表示する広告物の取扱いについて	小樽市
【議題10】	自動車又は電車で表示される屋外広告物の色彩規制について	会津若松市

(2) デジタルサイネージ

【議題11】	デジタルサイネージ(LED広告)の屋外広告物法上の許可について	岩手県
【議題12】	民間デジタルサイネージの規制について	福島県
【議題13】	公共的目的をもって設置するデジタルサイネージの活用事例について	山形市
【議題14】	デジタルサイネージの手数料の算定方法について	横手市

(3) 安全確保関連施策

【議題15】	屋外広告物設置時の基準について	宮城県
【議題16】	屋外広告物の安全点検の実施状況について	宮城県
【議題17】	安全点検報告書の取扱いについて	仙台市

(4) 違反対応

【議題18】	簡易除却ボランティア団体の登録数と現状について	盛岡市
【議題19】	無許可・未更新・違反となっている屋外広告物の実態把握業務(委託調査)について	郡山市
【議題20】	屋外広告物に対する日常的なパトロールについて	弘前市

(5) 除却指導

【議題21】	過去に屋外広告物が掲載されていた枠組みだけの工作物の老朽化の対策について	いわき市
【議題22】	閉店後の広告物の除却指導について	八戸市

(6) 申請手続

【議題23】	屋外広告物・屋外広告物・屋外広告物講習会に係る手続きのオンライン申請の導入状況について	秋田県
【議題24】	屋外広告物の許可に係る申請手数料の改定予定などについて	山形県

(7) その他

【議題25】	屋外広告物景観の形成のための連携協定締結による取組みについて	盛岡市
--------	--------------------------------	-----

▲ 北海道・東北ブロック屋外広告物行政担当者会議議題一覧

▲ 広報しらかわ8月号「屋外広告物と景観まちづくり」

分類	点検項目	広告物の現状	補修等の有無	維持管理・補修等の内容
景観	1 上部構造全体の傾斜、歪み	良 中良 中悪 悪		
	2 基礎のクラック、変位と健全さとの関係、支柱の歪み	良 中良 中悪 悪		
	3 躯体の歪み発生、塗装の老朽化	良 中良 中悪 悪		
安全	1 教育施設(幼稚園、小学校)の設置、変更、閉鎖	良 中良 中悪 悪		
	2 教育施設(幼稚園、小学校)の設置、変更、閉鎖	良 中良 中悪 悪		
	3 教育施設(幼稚園、小学校)の設置、変更、閉鎖	良 中良 中悪 悪		
その他	1 アンカーボルト・敷設プレートの変位、変形	良 中良 中悪 悪		
	2 屋根部の劣化、コーキングの劣化等	良 中良 中悪 悪		
	3 取付部(柱・壁・スラブ)・敷設部(基礎)の腐食	良 中良 中悪 悪		
その他	1 表示面歪み、切り文字等の腐食、破損、変形、ビス等の欠落	良 中良 中悪 悪		
	2 腐食、表示面劣化等の腐食、破損、おこり、変形、欠落	良 中良 中悪 悪		
	3 広告板裏面の腐食、木部劣化の跡残り	良 中良 中悪 悪		
その他	1 照明設置の不点灯、不燃電	良 中良 中悪 悪		
	2 照明設置の取付部の腐食、変形、さび、漏電	良 中良 中悪 悪		
	3 網の腐食の劣化、破損	良 中良 中悪 悪		
その他	1 塗料、張り止め材、防水材、その前処理材の腐食	良 中良 中悪 悪		
	2 塗料の腐食、剥離	良 中良 中悪 悪		
	3 その他腐食した事象( )	良 中良 中悪 悪		

▲ 屋外広告物更新時点検項目

評価軸③-1

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	令和5年度
項目		現在の状況
歴史的まちなみ修景事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
事業期間	平成23年(2011)度～令和12年(2030)度	
支援事業名	社会資本整備総合交付金事業(都市再生整備計画事業(平成30年度～令和2年度)、都市再生整備計画関連事業(都市構造再編集集中支援事業)(令和3年度～令和5年度))、市単独事業	
計画に記載している内容	良好な町並み景観の保全を図るため、景観計画に基づき「景観形成ガイドライン」を策定し、これに基づく建造物の修景等に対する支援を行う。	

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

平成23年度に策定した「景観形成ガイドライン」に基づき、建造物の外観修景等に対する支援を実施した。  
 また、当事業の周知と活用を促進するため、補助エリア内にチラシを回覧・配布を行った。  
 ○対象エリア:景観形成ガイドラインAゾーン(景観計画城下町地区重点推進区域)、金屋町谷津田川せせらぎ通り景観協定区域、白河城下景観まちづくり協定区域、白河門前通り景観まちづくり協定区域、横町景観まちづくり協定区域、田町景観まちづくり協定区域  
 ○令和5年度補助件数:3件(平成23年度からの累計39件)

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	歴史的まちなみ修景事業のさらなる制度周知により、市補助金の活用推進を図る。

状況を示す写真や資料等

■外構等の修景(生垣の設置)



施工前



施工後

■景観まちづくり補助制度のチラシ

～景観まちづくり協定区域の皆様へ～

1.白河市景観まちづくり補助制度

景観まちづくり協定を締結している区域において、良好な歴史的まちなみ景観の形成に配慮した建物の新築、改築、修景などを行う場合、費用の一部を補助します。

【景観まちづくり協定区域】



【補助の内容】

対象事業		限度額(万円)	補助率
建築物	新築・増築・改築のうち外観に係る部分※	80	2分の1
	外観の修景整備	80	
建築設備、外構等の修景整備		30	

※景観協定区域内でも新築・増築に係る事業の対象にならない区域があります。

【注意事項】

- 区域内の主要な通りから見える一定範囲内の整備が対象となります
- 市の景観計画や景観形成ガイドラインへの適合が必要となります
- 建築基準法など関係法令への適合が必要となります
- 年度内(3月末まで)に完了する工事が対象となります
- 通常の維持管理行為などは対象となりません

(裏面もご覧ください)

評価軸③-2

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	令和5年度
項目	現在の状況	
歴史的風致形成建造物保存修景事業	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 令和3年(2021)度～令和12年(2030)度

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 歴史的なまちなみを形成する歴史的建造物の保全及び活用を図るため、歴史的風致形成建造物の所有者が行う建造物の修理又は修景に要する経費の一部を助成する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で  
 NPO法人しらかわ建築サポートセンター(歴史的風致維持向上支援法人)との連携により、歴史的風致形成建造物の修理に対する支援を実施した。  
 ■令和5年度補助件数:1件1棟(松島家蔵座敷建造物群)

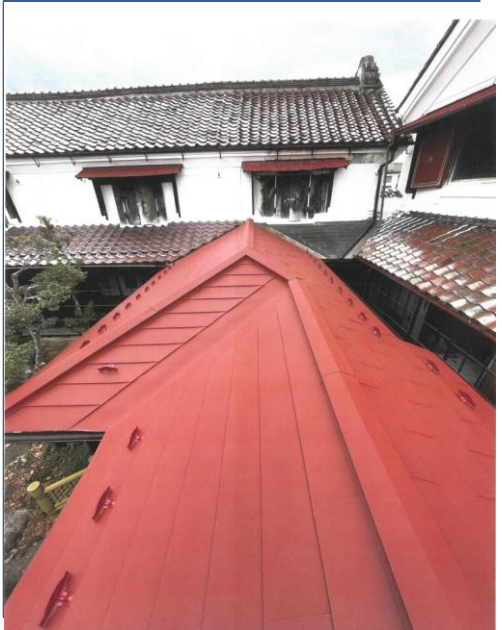
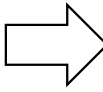
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	事業完了後も定期的に建造物の状態を確認し、メンテナンス等の相談支援を実施する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

■屋根改修工事(松島家蔵座敷建造物群)



施工前



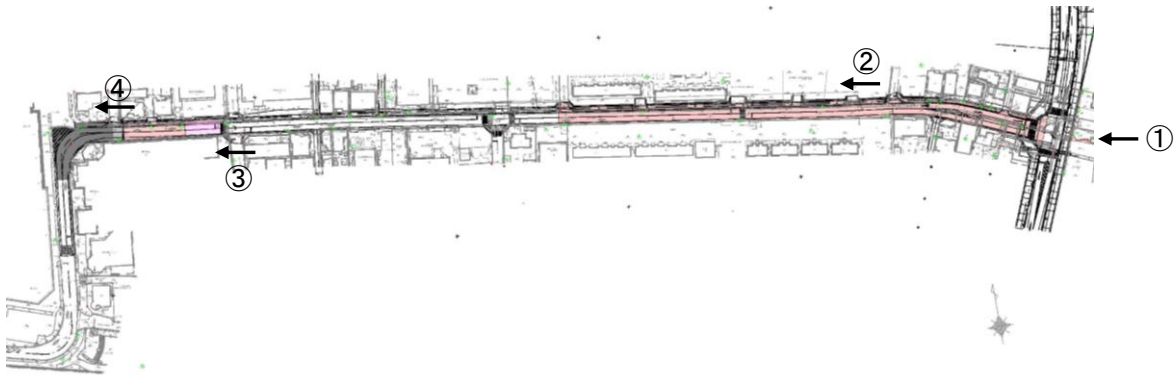
施工(令和6年2月)

評価軸③-3

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和4年度
項目		現在の状況	
市道城山線整備事業		<input checked="" type="checkbox"/> 実施済 <input type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	平成28年(2016)度～令和4(2022)年度		
支援事業名	社会資本整備総合交付金事業(都市再生整備計画事業)(平成30年～令和2年度) 都市再生整備計画関連事業(都市構造再編集中支援事業)(令和3年度～令和4年度)		
計画に記載している内容	市道城山線は旧奥州街道と小峰城跡を結ぶ重要な路線であり、国道294号バイパスの整備完了に伴い交通量の増加が予想されている。また、当該路線は提灯まつりにおける神社神輿の巡行ルートや屋台・山車の運航ルートであるとともに、沿線には旧小峰城太鼓櫓など歴史的建造物もあり、歩行スペースの確保と拡幅整備により歴史的風致と調和した街路として改良する。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
令和3年度 L=380mを整備完了。 令和4年度 L=60mの整備完了。			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない			

状況を示す写真や資料等



①



②



③



④



評価軸③-4  
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	令和5年度
項目		現在の状況
無電柱化調査事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成24年(2012)度～令和12年(2030)度

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 鹿嶋神社祭礼(白河提灯まつり)及び白河だるま市の運営支障や景観阻害の要因となっている旧奥州街道(国道294号)の電線・電柱類について、道路管理者・事業者等と無電柱化に関する調整を図りながら、現況及び整備手法等について調査・検討を行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している  
計画どおり進捗していない

現在の道路管理者は福島県となっているが、今後、市へ移管される見込みである。移管後は、県の無電柱化推進計画への登録や無電柱化協議会との調整など、事業実施に向けた手続きについても進めていく予定である。

状況を示す写真や資料等

令和5年度は、概略設計に着手し、標準横断を検討するために道路幅員や交差点、沿道等の確認や電線共同溝の施工性に関わる物件(埋設物、大型標識、排水側溝、電柱位置、照明、バス停等)を確認する現地踏査を行った。

旧奥州街道(国道294号)現地踏査結果

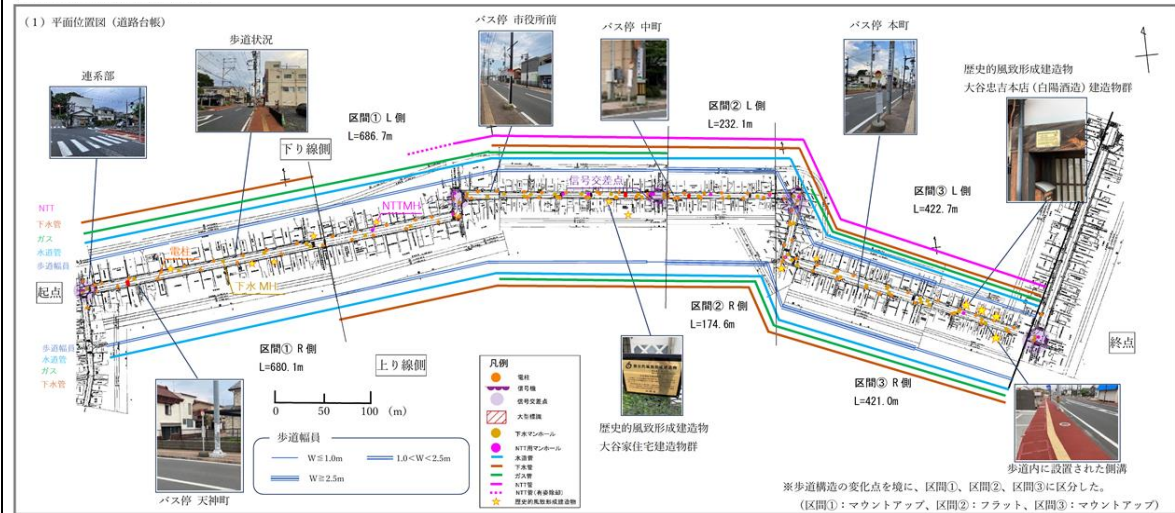
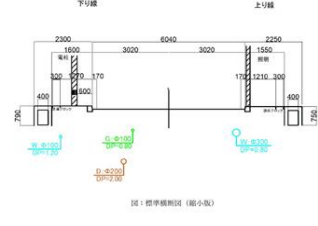


表: 埋設物、通行障害物の有無

埋設物	区間①		区間②		区間③	
	上り線	下り線	上り線	下り線	上り線	下り線
水道	○	○	○	○	○	○
ガス	○	○	○	○	○	○
下水道	○	○	○	○	○	○
NTT	○	○	○	○	○	○
電柱	○	○	○	○	○	○
大型標識	○	○	○	○	○	○
歩道照明	○	○	○	○	○	○
側溝	○	○	○	○	○	○
バス停	○	○	○	○	○	○
信号機	○	○	○	○	○	○
信号機交差点	○	○	○	○	○	○



**路線概要**

- 歩道幅員は、路線のほとんどが2.5m以下となっている。
- 沿道の建造物の多くは民家や店舗となっている。なかには、歴史的風致形成建造物に指定された建物も存在している。
- バス停が下り線側に4か所、上り線側に3か所所在している。(運行本数は1日に8本程度。)
- 路線全体に水道、下水道、ガス、NTTが占用しており、水道、ガスは歩道と車道、下水道、NTTは車道に敷設されている。
- 区間①起点側のNTTMH間のNTT管は、有姿除却となっている。
- 大型標識が3か所に設置されている。
- 歩道照明が歩車道境界ブロック内に設置されている。
- 歩道内に、歩道幅員の3~4割を占める大型の側溝が設置されている。
- 信号交差点が5か所設置されている。

評価軸③-5

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和5年度
項目		現在の状況	
景観学習事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	平成29年(2017)度～令和12年(2030)度		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	次世代を担う子供たちに「まち」や良好な「景観」に対して関心を持たせ、景観やまちづくりへの意識を高めてもらうことを目的として、小学生を対象とした景観学習事業を行う。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
市内の4つの小学校(計148人)を対象に、日本大学工学部建築学科住環境研究室の協力により、景観に関する講義やまち歩きを行い、グループレポートに取りまとめた。完成したレポートは、市立図書館ロビーに1ヶ月間展示し、活動成果を広く周知した。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	事業の実施には多くの人員が必要であるため、現在は一部の学校のみで開催となっていることから、実施方法の見直しや新たな景観啓発事業の実施について引き続き検討を行う。		

状況を示す写真や資料等

■景観学習

対象校	関辺小学校	釜子小学校	白河第一小学校	みさか小学校
学年・児童数	5年生・22名	4年生・31名	6年生・34名	4年生・61名
日程	1日目/講義・まち歩き	5月18日(木)	6月12日(月)	9月5日(火)
	2日目/レポート作成	5月30日(火)	6月20日(火)	9月25日(月)
	3日目/授業参観	—	—	11月11日(土)



▲ 景観に関する講義(みさか小学校)



▲ まち歩き(関辺小学校)



▲ レポート作成(白河第一小学校)



▲ レポート展示(白河市立図書館)

評価軸③-6

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	令和4年度
項目	現在の状況	
リノベーションまちづくり推進事業	<input checked="" type="checkbox"/> 実施済 <input type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 令和2年(2020)度～令和4年(2022)度

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 重点区域内に集積している旧城下町の歴史的建造物の保存と活用が課題となっているため、空き家・空き店舗を積極的に活用する機会を創出する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

所有者に代わり空き家や空き店舗をリノベーションし、事業の創出やコミュニティの形成などエリアのマネジメントを行うまちづくり会社(家守)の育成を目的にセミナーや実践講座を開催した。

実践講座には、地元の若手事業者やまちづくり会社、行政など5チーム23人が参加し、各チームが持ち込んだ事業計画のブラッシュアップを行い、最終日には地域住民に向けて、公開プレゼンテーションを行った。

【セミナー】

- テーマ:『まちの力を育む仕組み「家守」とは』
- 期 日: 令和4年10月12日(水)
- 場 所: 市立図書館りぶらん 地域交流会議室
- 講 師: 花巻家守舎 小友 康広氏、(株)ブルースタジオ 大島 芳彦氏
- 参加者: 51名(会場36名、オンライン15名)

【実践講座】

- 期 日: 令和4年10月30日(日)・11月12日(土)・13日(日) 3日間
- 講 師: (株)ブルースタジオ 大島 芳彦氏、(株)See Visions 東海林 諭宣氏  
花巻家守舎 小友 康広氏、北九州家守舎 遠矢 弘毅氏
- 参加者: 実践講座23名(5チーム)／公開プレゼン聴講21名(会場18名、オンライン3名)

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	ワークショップで提案された歴史的建造物を活用したビジネスプランの事業化に向けた支援を行っていく。

状況を示す写真や資料等



▲ セミナーの様子



▲ 公開プレゼンテーション



評価軸③-7  
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	令和5年度 現在の状況
小峰城史跡整備事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成27年(2015)度～令和12年(2030)度

支援事業名 国宝重要文化財等保存整備事業(文化庁補助事業)

計画に記載している内容 本市のシンボルとして、史跡の価値をさらに高めるため、平成26(2014)年度に策定した『史跡小峰城跡整備基本計画』に基づき事業を実施する。具体的には、①本丸周辺の整備、②石垣修復、③東側丘陵の整備をそれぞれ進める。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

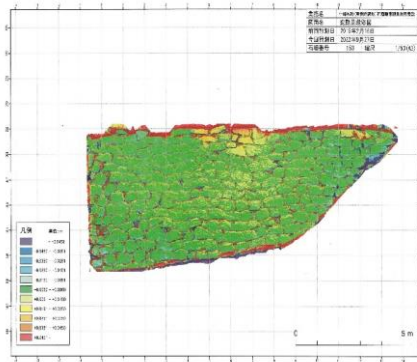
令和5年度は、東側丘陵地の石垣動態観測を実施し、石垣の保存管理の貴重な資料を得た。また、石垣カルテ作成のための石垣調査を行い、石垣の健全度を確認している。

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している  
計画どおり進捗していない

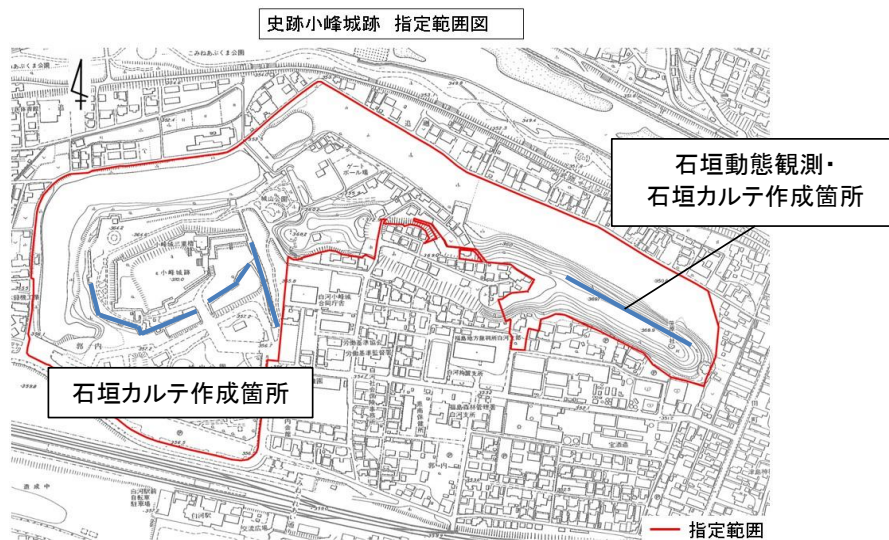
石垣の健全度を確認し、必要に応じて応急処置を行う。

状況を示す写真や資料等



▲石垣動態観測(東側丘陵地)

▲石垣カルテ作成風景



評価軸③-8  
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和4年度
項目		現在の状況	
旧小峰城太鼓櫓等整備事業		<input checked="" type="checkbox"/> 実施済 <input type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	令和元年度～令和4年度		
支援事業名	社会資本整備総合交付金事業(都市構造再編集集中支援事業)		
計画に記載している内容	旧小峰城太鼓櫓は、小峰城の建物群の中で唯一現存する貴重な建造物であるが、経年劣化および震災による影響により、保存状態の悪化が深刻化している。このため、旧小峰城太鼓櫓を解体移築し、国指定史跡小峰城跡と一体的に整備していくとともに、街なかの回遊性向上のため、公開・活用を目指す。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
今年度は、移築復元工事および環境整備(休憩棟新築、園路整備等)を実施した。また、8月より一般公開及び貸館を開始した。内部の一般公開は月2回行い、貸館では4件の利用があった。(1月27日時点)			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	今後も文化財の価値を継承しながら、より効果的なPRを行い、多くの方に見学・利用していただけるよう努める。		

状況を示す写真や資料等



▲移築前



▲移築後



▲施工中



▲施工中(根継ぎした柱を立てる様子)

評価軸③-9

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	令和5年度 現在の状況
小峰城清水門復元整備事業			<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
事業期間	令和2年(2020)度～令和7年(2025)度		
支援事業名	国宝重要文化財等保存整備事業(文化庁補助事業)		
計画に記載している内容	清水門は、小峰城の主郭部への入口に位置する大手門・前御門に並ぶ規模の門であり、その重要性から『史跡小峰城跡整備基本計画』において、復元対象と位置付けられている。 令和7年(2025)度の復元整備完了を目指し、調査研究や文化庁との協議、各種設計を行っていく。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
令和5年度は、清水門復元整備に向けた文化庁との協議を継続し、復元の上承を得たことから、復元工事の発注を行った。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	令和5年度から復元工事に着手し、令和7年度の完了を目指す。		

状況を示す写真や資料等



▲清水門跡現況(写真中央、南から)



▲清水門の位置  
(奥州白河城下全図:白河市歴史民俗資料館蔵)



▲清水門復元イメージ

評価軸③-10  
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	令和5年度 現在の状況
南湖公園史跡整備事業			<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
事業期間	平成29年(2017)度～令和12年(2030)度		
支援事業名	国宝重要文化財等保存整備事業(文化庁補助事業)		
計画に記載している内容	史跡名勝としての価値をさらに高めるため、平成29年(2017)度に策定した『史跡名勝南湖公園整備基本計画』に基づき事業を実施する。具体的には、園路整備、水質および植生の改善を行う。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
令和5年度は、照明設置に向けてワークショップを2回実施し、市民の意見を募った。福島大学・日本大学との共同研究を実施し、水質および植生の改善に向けた助言を得るとともに、シンポジウムを開催し、共同研究の成果について市民に公開周知をはかった。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	「史跡名勝南湖公園整備基本計画」に基づき、史跡名勝南湖公園整備指導委員会から助言を得ながら引き続き整備を行う。		

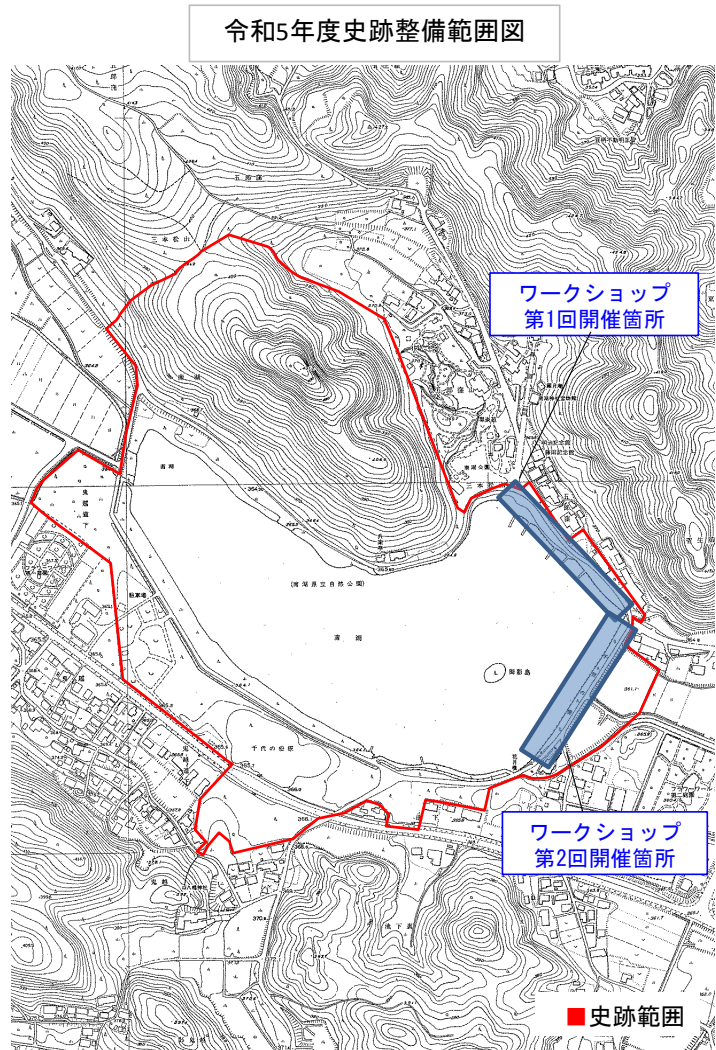
状況を示す写真や資料等



▲南湖公園照明設置ワークショップ(第2回)  
(令和5年10月30日)



▲南湖環境シンポジウム  
(令和5年10月16日)



評価軸③-11 歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項		評価対象年度	令和5年度
項目		現在の状況	
無形民俗文化財等活動記録作成事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	平成23年(2011)度～令和12年(2030)度		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	地域に根差した民俗・芸能活動は、住民の生活の一部を形作っていたものであることから、現状での活動内容について、詳細な調査を行い、活動記録の保存を行う。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
民俗・芸能活動について、活動内容の詳細な調査を行うとともに、写真・映像による活動内容の記録も行った。 ○令和5年度記録件数：15団体(平成23年度からの累計235団体)			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	今後は記録映像の作成・公開などを検討する。		
状況を示す写真や資料等			
			
▲本沼のどんど焼(天王祭)(白河地域/7月16日)		▲中ノ沢権現梵天祭(表郷地域/9月9日) (コロナ禍のため規模縮小)	
			
▲下新城のキュウリ天王祭(大信地域/7月6日) (コロナ禍のため神事のみ実施)		▲琴平神社の奉納相撲(東地域/10月1日)	



評価軸③-12  
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	令和5年度
項目	現在の状況	
無形民俗文化財等支援事業	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間	平成21年度～令和12年(2030)度
支援事業名	市単独事業

計画に記載している内容	無形民俗文化財の保存団体等を対象に、必要に応じて学識経験者等の指導・助言を得ながら民俗芸能等に用いる用具類の新規購入や修繕、行事の実施公開に対して財政支援を行うとともに、本事業を周知し、支援団体の拡充を図る。
-------------	--

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

無形民俗文化財の保存団体の活動は、後継者不足等の理由により活動停止となる事例が増加しているため、申請に基づき調査を行い、道具等の補修・購入や活動の財政的支援を行った。今年度も昨年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症対策のため、行事を縮小して実施した団体についても、一部支援を行った。  
 ○令和5年度支援件数: 13団体(平成23年度からの累計161団体)

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	各団体の要望を把握した上で、より効果的な支援となるよう努める。

状況を示す写真や資料等



▲ 関辺のさんじもさ踊(白河地域/7月2日)



▲ 河東田牛頭天王祭(表郷地域/6月10日)



▲ 十日市のちょうちん祭り(大信地域/7月23日)



▲ 釜子の盆踊り(東地域/8月14日)

評価軸③-13

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	令和5年度 現在の状況
伝統的技術伝承事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成24年(2012)度～令和12年(2030)度

支援事業名 民間事業(歴史的風致維持向上支援法人/NPO法人しらかわ建築サポートセンター)

計画に記載している内容 歴史的な建造物の修理等に際し、伝統工法に係る材料調達や職人不足の課題が浮き彫りとなったことから、地域の材料、地域の職人、地域固有の工法で修理する持続可能な修理システムを構築するため、モデル修理工事の実施や専門家を招いた研究会を開催し、修理工法の開発や職人等の人材育成を図る。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

NPO法人しらかわ建築サポートセンターの主催により、「鈴木家住居」及び「関の森公園ふるさとの家」を題材に研修会を実施した。当日は、設計監修を担当した設計士を招いて、伝統工法による建物の構造や修理内容の説明を受けながら建築物を見学した。

- 期 日:令和5年12月9日(土)
- 場 所:鈴木家住居(表郷)、関の森公園ふるさとの家(旗宿)
- テーマ:伝統的技術継承事業研修会
- 参加者:17名(NPO法人しらかわ建築サポートセンター(および同センター組合員)、日本大学工学部、白河市)

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	引き続き、専門家を招いた研究会を開催し、行政と連携しながらモデル的な歴史的建造物の修理・改修方法の実例を学んでいく。

状況を示す写真や資料等



●鈴木家住居改修事例を説明をする設計士(表郷)



●「関の森公園ふるさとの家」の外壁修理に関する説明を受ける参加者

評価軸③-14  
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	令和5年度 現在の状況
白河の歴史・文化再発見事業			<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
事業期間	令和3年(2021)度～令和12年(2030)度		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	白河の歴史についての知識と見聞を広め、郷土の歴史への興味を喚起するとともに、自分の生まれ育ったまちを愛する心を育てるため、小学校1年生から中学校3年生を対象に、「白河歴史の手引き『れきしら』」を活用しながら、白河の歴史や伝統文化等についての学習を体系的に行う。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
小・中学校とも「白河歴史の手引き『れきしら』」を活用し、白河の歴史や伝統文化について各学年ごとにテーマを設け、各種文化団体や市文化財課学芸員等の協力を得ながら学習した。感染症等の影響をあらかじめ見込んで計画を立案したため、各校とも計画通りに実施することができた。学習成果の情報発信活動に力を入れ、小6の学習成果を市立図書館に掲示した。本年度はタブレットを活用して新聞を作成した学校も複数見られた。			
実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)			
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	今後も、感染症等の影響をあらかじめ見込んで、協力団体・機関との調整や実施内容の精選・重点化を図り、安心・安全な体制を保ちながら実施する。		

状況を示す写真や資料等



▲ 小学2年生の「読み聞かせ」  
(令和5年10月3日)



▲ 小学5年生の茶道体験(翠楽苑)  
(令和5年5月30日)



▲ 小学6年生の小峰城・小峰城歴史館見学  
(令和5年6月1日)



▲ 小学6年生の市立図書館での学習成果掲示 (令和5年12月)

R5 歴史文化再発見事業【実施状況】				
小学校	事業名	対象校	実施校	中止等
2年	読み聞かせ	10	10	0
3年	鈴木家住居見学 大信ふるさと文化伝承館見学	13	13	0
5年	茶道体験(翠楽苑)	11	11	0
5年	茶道体験(茶道連盟)	2	2	0
6年	小峰城・小峰城歴史館 中山義秀記念文学館見学	13	13	0
6年	白河の戊辰を学ぶ(出前授業)	7	7	0
中学校	事業名	対象校	実施校	中止等
1年	白河の古代	7	7	0
2年	松平定信の業績	6	6	0
2年	白河の戊辰を学ぶ	2	2	0
3年	しらかわの未来フォーラム	8	8	0

評価軸③-15

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	令和5年度
			現在の状況
ぐるり白河文化遺産めぐり事業			<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
事業期間	平成21年(2009)度～令和12年(2030)度		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	旧城下町のエリアには、歴史的な街並みや寺・神社などの歴史的・文化的資源が多く残されている。こうした歴史・伝統・文化に触れながら街なかを回遊することで、地域資源の価値を再認識する機会を提供し、本市の魅力を広く発信する。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
実行委員会の主催により、春と秋の2回実施した。 【春のイベント】 旧城下町にある寺院と正教会を訪れ、住職等による解説付きで普段は非公開の文化財や美術品などを見学し、本市の歴史について知見を広げる機会となった。 ■期 日: 令和5年5月27日(土) ■場 所: 小峰寺、白河ハリストス正教会、妙閑寺 ■テーマ: 「城下町の寺院と文化財」 ■参加者: 26名 【秋のイベント】 整備された小峰城帯曲輪や、しらかわ観光ステーションを見学し、新たな観光拠点としての機能を体験するとともに、「坐禅」の体験を通じて本市の歴史を知る機会となった。 ■期 日: 令和5年10月28日(土) ■場 所: 月心院、しらかわ観光ステーション、小峰城歴史館、小峰城帯曲輪 ■テーマ: 「白河の歴史再発見・心を整え、てくてくまち歩き」 ■参加者: 23名			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	今後も関係各所と連携しながら、歴史的・文化的資源に着目した内容で、まちなかに残されている魅力の再発見につながる機会を提供していく。		

状況を示す写真や資料等



▲住職から説明を聞く参加者



▲ツーリズムガイド白河による説明

回覧

**秋のぐるり白河**

## 文化遺産ツアー

～白河の歴史再発見・心を整え、てくてくまち歩き～

★ 日時

令和5年 **10月28日(土)**  
8時45分～11時45分(開始10分前には集合してください)

★ 集合 白河市役所 正面玄関(雨天決行)

★ 定員 40人

★ 募集 9月19日(火)から申込受付開始  
(※先着順)

★ 参加料 300円

★ みどころ

月心院(金屋町)・小峰城帯曲輪・小峰城歴史館

★ ポイント

白河市のシンボルである史跡「小峰城」小峰城歴史館を見学した後、整備された李丸の西側から北側の帯曲輪を中心に見学します。月心院(金屋町)では坐禅を体験。※椅子坐禅も可能。約3km歩きます。動きやすい服装でお越しください。

協賛団体 **白河市まちづくり推進課** 電話 0248-22-1111

主催 ぐるり白河文化遺産めぐり実行委員会  
 協力団体 白河仏教会、NPO法人カルチャーネットワーク、ツーリズムガイド白河、白河市中心市街地活性化協議会、(株)楽市白河、(公財)白河観光物産協会、NPO法人しらかわ建築材ポートセンター、白河市

▲参加者募集のチラシ(秋のツアー)

評価軸③-16

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	令和5年度
項目		現在の状況
しらかわ検定事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成28年(2016)度～令和12年(2030)度

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 本市の歴史と伝統に対する正しい理解と郷土愛の醸成を図るとともに、市内外に広く本市の魅力を発信するため、白河歴史の手引き「れきしら」の内容から出題する「しらかわ検定」を実施する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

ご当地検定である第7回「しらかわ検定」を開催した。問題は「れきしら」から出題され、受験者にとっては本市の歴史を深く学習する契機となっている。最年少受験者は5歳(3級)、最高齢は86歳(2級)と幅広い年代が挑戦した。※受験者数は初年度(H28年度)から数えて1,000名を超えた。

- 日 時: 令和5年7月30日(日)
- 会 場: 東京第一ホテル新白河
- 時 間: 10:10～(3級)、13:30～(2級)、15:10～(1級)
- 受験者: 3級47名、2級25名、1級15名
- 合格者: 3級38名、2級18名、1級11名

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画どおり進捗している
- 計画どおり進捗していない

自ら進んで学ぶ機会を提供するため、興味深い内容の問題を作成し、しらかわ検定の継続開催に努める

状況を示す写真や資料等

【受験者数の推移】

	H28	H29	H30	R1	R3	R4	R5	合計
3級	182	124	90	71	63	44	47	621
2級	0	101	66	60	36	32	25	320
1級	0	0	27	18	17	22	15	99
計	182	225	183	149	116	98	87	1040



第7回 しらかわ検定

しらかわ検定は、白河市の歴史と伝統に関するご当地検定です。みちのく白河の魅力を再発見できるよう、白河歴史の手引き「れきしら」をもとに、選りすぐりの問題を出題します。

- ◆開催期日 令和5年 7月30日(日)
- ◆試験会場 東京第一ホテル新白河 (JR新白河駅東口)
- ◆試験種別 1級、2級、3級
- ◆受験料 無料
- ◆申込期間 5月1日(月)～6月30日(金)



\*実施内容の詳細については、裏面をご覧ください。

主 催 白河市(事務局 白河市まちづくり推進課) ☎0248-22-1111

切り取り線

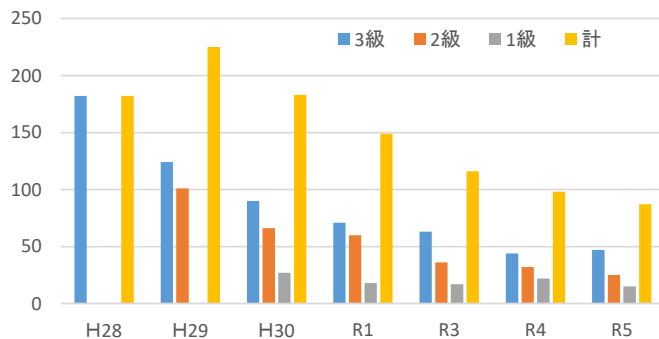
第7回 しらかわ検定受験申込書 令和5年 月 日

ふりがな	性別	試験種別(いずれかに○)
氏名	男・女	1級・2級・3級
現住所	〒	職業
生年月日	年 月 日	電話番号

※記載された個人情報はしらかわ検定以外の目的には使用しません。

▲参加者募集のポスター

受験者数(人)



評価軸③-17

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	令和5年度
			現在の状況
白河かるた作成事業			<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
事業期間	令和3年(2021)度～令和12年(2030)度		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	白河を代表する様々な事象を詠んだ「いろはかるた」を活用し、子どもたちが見て・触れて・遊ぶことで、地域固有の歴史・伝統・文化などへの理解を深めるとともに、世代間交流を通して、子どもたちの郷土愛の醸成を図る。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
令和5年度は、出前講座や原画展を実施し白河かるたの周知と振興に取り組んだほか、第1回の大会を開催した。			
<p>■白河かるたの販売開始 令和5年4月29日より、市内事業所15ヶ所で販売を開始した。</p> <p>■白河かるた出前講座の実施 市内の幼稚園、小学校、児童クラブ、中学校で出前講座を実施した。 令和5年9月7日(大信小学校)、9月28日(大信中学校)、9月29日(大信幼稚園)、12月27日(五箇小児童クラブ) 令和6年1月22日(小田川小学校)</p> <p>■白河かるた原画展の開催 令和5年7月25日～8月9日(白河市立図書館)、11月12日～12月10日(中山義秀記念文学館)</p> <p>■第1回白河かるた大会の開催 日時:令和6年2月18日 場所:白河文化交流館コミネス小ホール 参加者:市内の小学生55名 低学年(1～3学年)6チーム・18名 高学年(4～6学年)12チーム・37名</p>			
進捗状況	※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	多くの子どもたちに、「白河かるた」の楽しさを知ってもらうため、小学校等で出前講座を実施し、普及啓発活動に取り組むとともに、小学生を対象とした、かるた大会を開催する。		

状況を示す写真や資料等



評価軸③-18  
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

評価対象年度		令和5年度
項目		現在の状況
<p>勸工場跡地と旧脇本陣蔵座敷の空間整備事業</p>		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
事業期間	令和4年(2022)度～令和7年(2025)度	
支援事業名	都市構造再編集集中支援事業	
計画に記載している内容	<p>勸工場跡地を、本町エリアの賑わい創出機能などを備えた歴史まちづくりの重要な拠点として位置付けるとともに、次世代へ継承すべき魅力ある空間とするため整備を実施する。</p>	
<p>定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で</p>		
<p>令和4年度: 勸工場跡地の利活用調査(WSの開催(3回)、空間整備についてイメージを共有)                      令和5年度: 実施設計および整備工事に向けた景観検証                      旧脇本陣敷地(北側隣接地)の用地取得</p>		
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	<p>拡張した土地を含め一体的な活用を検討し、必要に応じて整備内容の変更を実施していく。</p>	

状況を示す写真や資料等



▲拡張した公有地(解体前)



▲拡張した公有地(解体後)



▲令和4年度に共有したイメージ図(案) ※公有地拡張前

評価軸④-1

文化財の保存又は活用に関する事項

項目	評価対象年度	令和5年度
	現在の状況	
文化財の修理(整備を含む)	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

計画に記載している内容 文化財の状況を常に把握した上で、法令に基づき適切な保存を図るとともに、計画的な修繕・整備を行う。また、専門的な指導・助言を得ながら、文化財が持つ歴史的価値の保持に努める。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

① 旧荒井家(楽山荘) 屋根修繕  
 経年により劣化した東側下屋について修繕を行った。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	文化財の修繕にあたっては、修繕方法について検討し、文化財の価値を減じないように行う。

状況を示す写真や資料等



▲ 施行前



▲ 竣工



▲ 施行前



▲ 竣工



評価軸④-2

文化財の保存又は活用に関する事項

		評価対象年度	令和5年度
項目		現在の状況	
文化財の保存・活用を行うための施設		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
計画に記載している内容	文化財の保存・活用を行うための施設として、歴史民俗資料館、小峰城歴史館(旧・白河集古苑)を設置しており、収蔵史資料の調査分析、保存及び公開を行っている。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
歴史民俗資料館では、白河の歴史と文化を通史的に学ぶことのできる展示を行っている。 小峰城歴史館では、行田市・桑名市・白河市友好都市合同企画展「武門の遺産(レガシー)」を開催した。 また、両館とも定期的に展示替えを行い、歴史資料の公開・活用に努めた。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	小峰城歴史館は、市の文化財に関する情報発信の拠点として、引き続き効果的な事業を実施する。 また、施設の老朽化が進行している歴史民俗資料館については、改修等を検討する。		
状況を示す写真や資料等			
■歴史民俗資料館(中田7-1)  ○来館者数/1,786人(年間)  ○平常展示「白河の歴史と文化」(4/1~3/31)			
		▲歴史民俗資料館展示「白河の歴史と文化」	
■小峰城歴史館(郭内1-73)  ○来館者数/16,981人(年間)			
【展示室1】 ○「小峰城ガイド展示」「小峰城VRシアター」(4/1~3/31)		▲三市合同企画展「武門の遺産(レガシー)」	
【展示室2・3】 ○「小峰城の歴代城主と美術」(4/1~7/30) ○三方領知替200年 行田市・桑名市・白河市友好都市締結25周年記念合同企画展「武門の遺産(レガシー)」(8/11~9/10) ○「小峰城の歴代城主と美術」(9/23~3/31)			
※閉室/展示替え(7/31~8/10、9/11~22)			

評価軸④-3

文化財の保存又は活用に関する事項

		評価対象年度	令和5年度
項目		現在の状況	
文化財の防災		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
計画に記載している内容	文化財防火デーに併せた火災防御訓練の実施や訓練への住民参加に積極的に取り組み、所有者のみならず周辺住民の文化財防災に関する意識向上を図る。 また、盗難に対する施設内の設備の現状確認を実施し、盗難予防に対する意識付けを強化していく。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
文化財防火デーに併せ、国指定史跡・白河関跡において、令和6年1月21日に放水訓練等の火災防御訓練を実施し、約50名が参加した。			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない		地域に所在する文化財の保護及び防災意識向上のため、地域住民と連携して、防火体制を確認する「文化財防火デー火災防御訓練」を引き続き実施する。	
状況を示す写真や資料等			
<p>■文化財火災防御訓練</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>日時: 令和6年1月21日 午前9時～10時</li> <li>場所: 白河関跡(白河市旗宿関ノ森) ※国指定史跡</li> <li>訓練内容 ①通報訓練 ②放水訓練 ③水消火器訓練 ④消防設備の点検</li> <li>参加者 ①白河消防署 ②白河市消防団白河方面隊第8分団 ③地元町内会 ④白河市</li> </ol>			
			
▲ 地元消防団による放水訓練		▲ 住民参加の消火器取り扱い訓練	

評価軸④-4

文化財の保存又は活用に関する事項

項目	評価対象年度	令和5年度 現在の状況
----	--------	----------------

文化財の保存及び活用の普及・啓発

- 実施済
- 実施中
- 未着手

文化財を広く市民へ公開し、文化財保護精神の普及・啓発を図るため、ホームページを通じて指定文化財を分かりやすく紹介するほか、文化財の誘導・説明板の設置を進める。  
また、出前講座や各団体の学習会等に積極的に講師派遣を行うなど、文化財に対する知識・理解の高揚に努める。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

文化財の説明板については、新規設置や改修を計画的に実施しており、令和5年度は3件の改修を実施した。  
また、「歴史民俗資料館講座」の開催や、「広報しらかわ」での文化財に関する連載記事の掲載など、白河の歴史・文化についての普及事業を実施した。

進捗状況 ※計画年次との対応

- 計画どおり進捗している
- 計画どおり進捗していない

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)  
これまでの実績をふまえ、より有効な手段を検討しつつ、文化財に関する情報発信を継続的に実施する。

状況を示す写真や資料等

■文化財説明看板の更新

件数:3件

- ①絹本着色仏涅槃図(市指定重要文化財、大統寺)
- ②栃(市指定天然記念物、表郷金山)
- ③ビャッコイ自生地(県指定天然記念物、表郷金山)



▲文化財説明看板の更新(絹本着色仏涅槃図)

■講座・見学等への講師派遣

件数:7件

- ①「白河市文化財保存活用地域計画」について(福島県議会、5/25)
- ②旧小峰城太鼓櫓見学(大信公民館、6/2)
- ③「白河市権兵衛(ごんべえ)稲荷神社の農耕彫刻について」(福島県民俗学会、6/4)
- ④「日本史演習・文献」講義協力(中央大学文学部、6/29、10/26)
- ⑤「日本史演習(白河市の歴史)」見学(中央大学文学部、8/27、9/9・10)
- ⑥小峰城・南湖公園視察(福島県副市長会、10/25)
- ⑦「仏像・美術について」(中央公民館、11/15)



▲歴史民俗資料館講座(美術講座)

■歴史民俗資料館講座

- (1)古文書講座1(初心者向け)受講者数:16人  
開催日:(全5回)12/16、1/6・20、2/3・17
- (2)古文書講座2(中級者向け)受講者数:21人  
開催日:(全5回)12/17、1/7・21、2/4・18
- (3)美術講座(白河の文化財からみる日本美術史Ⅳ)  
受講者数:19人  
開催日:(全5回)12/14、1/11・25、2/8・22

■広報しらかわ記事連載

題名:「しらかわの身近な文化財」  
掲載号:令和5年5月号～令和6年3月号



▲広報しらかわ記事連載  
令和5年12月号「しらかわの身近な文化財」

進捗評価シート		(様式1-5)
評価軸⑤-1 効果・影響等に関する報道		
報道等タイトル	評価対象年度	令和5年度
	年月日	掲載紙等
白河小峰城・日本城郭協会大賞「調査・整備・活用賞」受賞	令和5年4月7日	福島民報・福島民友
郷土愛育む 白河かるた	令和5年4月25日	読売
白河かるたで地域を学ぼう	令和5年4月30日	福島民報
白河かるた完成！	令和5年5月1日	広報しらかわ
「地域の宝」住民が保存(白河 築200年、10月閉店の本家富川屋染物店)	令和5年5月8日	福島民報
近代日本画の大家 結城素明 白河で油彩展	令和5年5月12日	福島民報
地元の魅力をカメラに 児童がまち歩き	令和5年5月18日	NHK福島放送局
お気に入りの景観探す 白河の小学生が学習会	令和5年5月22日	福島民友
結城素明の油彩を紹介 ゆかりの地 白河で企画展	令和5年5月23日	福島民友
華やかにバラ咲き誇る 白河ハリストス正教会	令和5年5月27日	福島民報
白河かるた	令和5年5月29日	NHK福島放送局
「しらかわ検定」挑戦を	令和5年6月19日	福島民友
しらかわ検定に87人 合格目指し50問に挑戦	令和5年8月3日	福島民報
定信と絵師に焦点 白河藤田記念博物館で企画展	令和5年10月20日	福島民報
小峰城清水門復元1月着手	令和5年10月27日	福島民友
小峰城跡「清水門」市、来年1月復元着手	令和5年11月8日	福島民報
ダム、城・・・カード集め集中	令和5年11月23日	福島民友
歴史まちづくりシンポジウムin白河	令和5年11月28日	NHK福島放送局
渋沢栄一ゆかりの作品 白河市重文指定を諮問	令和5年11月30日	福島民報
「歴史まちづくり」6市町意見交わす 白河でシンポ	令和5年12月5日	福島民友
白河市重要文化財に 保護審、市に答申書	令和6年2月15日	福島民報
白河かるた大会初開催 古里に親しみ 勝敗競う	令和6年2月21日	福島民報
清水門復元へ始動 白河小峰城跡	令和6年3月1日	福島民友
国文化審、追加を答申 白河の藤田家住宅店舗、座敷蔵、土蔵	令和6年3月16日	福島民報・福島民友
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で		
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input type="checkbox"/> 計画の進捗に影響あり <input type="checkbox"/> 計画の進捗に影響なし		
状況を示す写真や資料等		

法定協議会等におけるコメント

(様式2)

評価対象年度	令和5年度
・法定協議会等におけるコメント	
コメントが出された会議等の名称: 白河市歴史的風致維持向上計画協議会	
会議等の開催日時: 令和6年3月22日	
(コメントの概要)	
<ul style="list-style-type: none"><li>・歴史的風致形成建造物である藤屋建造物群(二番町)が3月15日に国の文化審議会より登録有形文化財に答申された。</li><li>・国史跡小峰城跡の清水門復元整備事業が進んでいるが、復元での技術等を地元を活かす検討をすべきである。</li></ul>	
(今後の対応方針)	
<ul style="list-style-type: none"><li>・清水門復元における技術やノウハウは、地元の歴史的建造物にも継承できるような仕組みづくりに取り組んで行く。</li></ul>	